

北朝鮮軍ウクライナ派兵（586号）

2024年 12月 石館

北朝鮮軍がウクライナ戦争に参戦した。実際にどのような契約のもと派兵されたのか良く分からない。ロシアにとって北朝鮮から輸入するものは一部弾薬や兵器以外にはほとんどなく、魅力のあるのは弾よけの傭兵に過ぎない北朝鮮兵である。ただ北朝鮮の弾薬、兵器はロシアの規格に合うものがあるようである。さもないと北朝鮮から送っても使えないことになる。



北朝鮮がロシアに派兵、ウクライナ戦線投入へ 韓国情報機関が ...

小生は北朝鮮事情に詳しいわけではなく、一部自分の意見や調べたこともあるが、多くは朝鮮半島問題に詳しい麗澤大学西岡教授の受け売りである。

金正恩は大量の死傷者が出ることを承知の上で派

兵を行った。10月末、金正恩は、ウクライナ派兵を準備している兵士らに人民軍総政治局を通じて秘密指示文“党と首領のために死ぬことは栄光だと考えろ”を伝えた。

金正恩は派兵される北朝鮮兵士らが同僚の死傷に直面し、集団脱走を企てる可能性を想定している。昨年、極秘で実施した特殊部隊隊員に対する思想調査では、ウクライナ戦争に派兵されたら指揮官を射殺して脱走すると内心考えている者が予想以上に多かったからだ。（こんなことをどうやって本音を調査したか疑問に思えるが）

そこで脱走兵をその場で射殺する射殺組も一緒に送っている。人民軍保衛局から射殺部隊が大挙、派遣されているという。ウクライナ側によると、11月初めの段階でロシアに派遣された北朝鮮軍は約1万2千人、そのなかに将校約5百人が含まれているという。

北朝鮮軍は一部地域をウクライナ軍が占領しているクルスク州に送られ、ロシア軍の軍服を着てロシア軍指揮下で参戦している。韓国の金国防部長官は北朝鮮軍は言葉こそ派兵だが、派兵ではなく傭兵という表現の方が適切であると述べている。



通常、派兵されれば、その国の軍の指揮体系を維持し、軍服、標識、国旗をつけて誇りをもって活動する。

しかし北朝鮮はロシアの軍服で偽装し、ロシア軍の統制下でなんらの作戦権限もなく、言われたとおりに動いている。

それゆえ北朝鮮軍は“弾よけ傭兵”に過ぎないと評価する。金正恩は自分の人民軍を侵略戦争に売り渡した、と語った。

ロシア国内で北朝鮮兵士は軍事訓練を受けさせられ、そこで“発射”や“位置につけ”など、100種類の基礎的な軍事用語をロシア語で学ばされているらしい。もし北朝鮮の部隊だけでウクライナ軍を攻撃させるつもりなら、兵士にロシア語を教える必要はないであろう。

北朝鮮軍の兵士は“威力偵察”を命じられた可能性がある。これは実際に敵軍と交戦し、敵軍の威力や装備を探る作戦で、危険な軍事行動であることは言うまでもない。一般的には装甲車や戦車、ドローンなどを使って実施するが、ところがロシア軍は訓練も装備も十分でない北朝鮮軍の兵士を自分たちと共に行動させ、最前線で北朝鮮兵士だけに威力偵察を命じた可能性がある。北朝鮮兵の人権を無視しても、多分本国から何も言っていないのでこんな都合の良い相手はない。正に人身御供で“捨て駒”である。

ウクライナのシビハ外相は、かつてロシア軍は囚人兵を大砲の餌食とし、ウクライナの砲列を偵察した。全く同じ作戦を北朝鮮軍の兵士に命令する可能性があると指摘した。

2023年9月、金正恩がロシアを訪問した。驚いたことに常習的に会合に遅刻するプーチンが金正恩より30分先に会談場に来て待機していた。それだけ北朝鮮からの兵器支援と派兵が欲しかったのだろう。首脳会談で、金正恩は軍事偵察衛星、原潜、最新戦闘機などを求め、プーチンは特殊部隊10万の派兵を求めた。結果として軍事偵察衛星提供と発射技術支援だけが決まった。それ以外は継続して協議することで同意した。



プーチンは決して無償支援はしない。提供された砲弾の値段を計算してそれに見合うものを出すだけだ。

ところが北朝鮮の砲弾は不良品が多く、

朝鮮派兵、主力は歩兵か 短期訓練後にロシア西部到着 ... ロシアはもはや受け取らない。そこで派兵せざるを得なくなった。ロシアは兵士一人当たり1500～2000ドルの給与を払うらしい。

現役の兵士だからその給与のほとんどは本人に渡らず北朝鮮当局が受け取る。兵士の命と引き換えに外貨を得て、それで先端兵器をもらおうという算段なのだ。但し訪朝したプーチンは原潜や戦闘機提供を求めた金正恩に対し確答しなかった。



北朝鮮兵の死傷者3000人超に 追加派兵やドロー...

金正恩はウクライナ戦争が停戦することを恐れ、それまでに原潜や最新戦闘機がどうしても欲しくて、渋っていた戦闘部隊の派兵に踏み切ったのであろう。弾除けの傭兵であることを承知の上で、兵士らの命で先端兵器を買おうとしている。

派兵は国内で秘密に行われた。しかし短波ラジオや風船ビラなどですぐにそのニュースは北朝鮮社会に拡散した。

兵士らの家族の中にはチャンマダン（自由市場）で短波ラジオを買うものが急増しているらしい。家族は自分たちの息子が派兵されているかどうか、八方手を尽くして情報を入手しようとしている。すでに1500～3000人の死傷者が出ているとの情報もある。これからもっと増えるであろう。それを親に隠すわけにはいかないはずだ。

北朝鮮政府はいくばくかの補償金を出して遺族の不満を鎮めようとするであろうが、しかし大量の死者や脱走兵が出たら政権に大きな打撃になろう。金正恩は自国の兵器の先端化をこの機会に図ろうとしても、逆に体制の崩壊に結び付く可能性もあるであろう。

ロシアにとっても北朝鮮のウクライナ派兵がうまくいかなかった場合は、ブーメランのように戻ってきてウクライナ戦線に大きな打撃を与えるのかもしれない。